

9月議会開会中(9/4~9/28) **ぜひ!** 中継をご覧ください!



9/10 (木)
午後 **3:30** 頃
からの予定

少し早めの時間をご案内しています。
質問開始時間が前後する場合があります。

小西 直樹 議員

【質問の要旨】 一問一答方式(30分)

1、コロナ禍の中での教育、学校について

- (1)小・中学校就学援助金の特例認定について
- ア 1学期の認定状況について問う
 - イ 1学期分は締め切りが8月5日になっているが、未申請の世帯が遡っての申請はできないのか。

- (2)小・中学校の少人数学級について
- ア 児童生徒数が36人以上の学級数を問う
 - イ 35人以下の学級実施に必要な教員数を問う
 - ウ コロナ禍を経て改めて少人数学級の意義について

(3)緊急スクールサポートスタッフの配置状況と業務内容

2、新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険について

(1) 新型コロナウイルスの影響により保険料の納付が困難となった世帯に減免できる制度があるが、富山市の加入世帯数は高岡市の約2.4倍だが減免世帯はほぼ同数である。周知方法を工夫し改めて周知すべきではないか。

(2) 新型コロナウイルスに感染したり、感染を疑われて休業した場合に傷病手当金の支給制度があるが、制度を利用した人は何人か。

(3) 傷病手当金制度について、被保険者にはがき等で改めて周知を図る必要があるのではないか。

3 定額給付金の未支給について

- (1)定額給付金の未支給は受給辞退を除いて何人いるのか。
- (2)申請締め切り日(8月27日)を延長して再周知すべき。
- (3)4月27日以前に富山市に居住しているが住民票を有しない市民や4月28日以降に富山市に転入してきた人で受給していない市民にも「定額給付金」を支給する対応をすべき。

4 スーパーシティ構想について

(1)市長は9月1日の会見で「スーパーシティ」構想実現にむけた国家戦略特区に応募することを検討していたが応募には住民合意形成が必要で時間がかかることから応募を取りやめると報道されたが、スーパーシティへの応募について富山市はどのように考えていたのか。見解を問う

9/14 (月)
午後 **1:50** 頃
からの予定

少し早めの時間をご案内しています。
質問開始時間が前後する場合があります。

赤星 ゆかり 議員

【質問の要旨】 一問一答方式(30分)

1、新型コロナウイルス対策について

(1) 秋冬に向かって、インフルエンザとコロナの同時流行に備えて医療体制をどう構築するか、見解を問う。

(2) 感染防止ならびに防疫の立場から、医療機関、介護・福祉施設、保育所などの職員等を対象に定期的なPCR検査を。

(3) 学童保育は国の「慰労金」の対象からは外された。「臨時交付金」を活用して市独自に給付できないか。

(4) コロナの影響で多くの保護者が家計に影響を受けている。給食費を半額や無料などに軽減できないか。

(5) 介護サービス事業所への支援について

ア 介護事業所や介護家族への衛生用品の提供や、情報収集・情報提供といった支援を行いたい。

イ 富山市の花弁農業の支援策と合わせて、介護サービス事業所や医療機関、保育所などへ花を贈る事業はできないか。

(6) 通所系介護サービス事業所と短期入所事業所に対する厚労省の6月1日事務連絡にもとづく「臨時的な取り扱い」について、現場に不安と混乱が広がっている。

ア 市内約195の事業所中の何事業所が「臨時的な取り扱い」をしているか。実態把握し意見を聞くべき。

イ この厚労省の措置は、本来の介護保険制度の基本的な考え方と相容れないものである。これについて、市長はどう考えるか、見解を問う。

ウ 介護事業所への支援は利用者負担を生じさせない国の補助金で行うよう国に求めるとともに、長野県飯田市のように、当面、相当する額を富山市単独で事業者へ補助できないか。

(7) コロナ危機で、日本の社会保障、医療や介護、公衆衛生、雇用、保育、教育、経済などあらゆる分野の脆弱性が浮き彫りにされた。これからは、人間の命を守るケアに手厚い社会をつくる方向転換が求められている。市長の見解を問う。

6階の「日本共産党」控室で質問原稿などお渡しできます。

富山市議会インターネット中継(生・録画)
ケーブルテレビ生中継をごらんください。

検索

2020年9月8日(火) 発行:富山市議会日本共産党
議員控室 TEL 076-443-2156 FAX 076-441-8418